

第1回 鳴門市まちづくりデザイン会議 議事録

日 時：令和7年3月24日 13時から15時

場 所：鳴門市役所 2階 大会議室

参加委員：内藤廣座長、永易委員、林委員、森下委員、河野委員、西谷委員、黒崎委員、
安宅委員、池田委員

事務局：まちづくり課、下水道課 碓課長、戦略企画課 吉川課長

発言者	主な発言内容
事務局	只今より、第1回 鳴門市まちづくりデザイン会議 を開会いたします。 開会にあたり、市長より、ご挨拶を申し上げます。
市長	<p>皆様こんにちは。本日、鳴門市まちづくりデザイン会議を開催いたしましたところ、大変お忙しい中、ご出席を賜り、本当にありがとうございます。</p> <p>先日、徳島新聞に、55年前、昭和45年の鳴門駅の移転、国道の直線化に関する記事が、写真付きで掲載されました。</p> <p>本市では、昭和47年に塩田が廃止となり、まちづくりが進み、昭和60年ぐらいに、今の骨格ができ上がりました。長い時間が経過する中で、今の形が、時代に即しているのかどうか、考えていかなければならない時を迎えています。</p> <p>かつての鳴門市は、非常に元気なまちということで、各市町の皆さんから羨ましがられました。ボートレースの資金を使い、様々な事業を進めましたが、平成10年には、財源が非常に厳しくなり、財政の非常事態宣言が発令されました。その後、今から6、7年前ぐらい前まで、職員数の削減、退職勧奨、市バス事業からの撤退など、財政再建しながら、様々な対応してきました。</p> <p>そして、ようやく、新庁舎、ボートレース場のエリア付近、くるくるなるを整備し、現在は、文化会館の改修と、今やっと、何らかの形で未来への投資ができる、そういう状況になってきました。</p> <p>都市計画マスタープランを令和5年3月に改定しました。重点まちづくり区域として、鳴門駅周辺を中心とした商店街、更に、新庁舎から文化会館、親水公園一帯に、人の流れを呼び込む、新しい鳴門の顔としていきたい、50年先を見据えた中で、ハード、そしてソフトの面から、まちの骨格の矯正をしていきたいとの思いを非常に強くしており、チャレンジしていきたい。こうした思いの中で、今回、デザイン会議を開催させていただきました。</p> <p>本日は、内藤先生はじめ、JR四国様、交通商業、観光、建設、不動産などの専門家の皆様方、鳴門のまちが好きな方に集まっていただいております。今、何が重要であるか、何をやらなければいけないのか、この場でお話をいただければと思います。しっかりと受けとめさせていただき、できる限り、実施、実行できるように頑張ってお参ります。どうぞ、よろしくごお願い申し上げます。</p>
事務局	(その他の公務により市長退席) 本会議設置要綱により、本会議の座長は鳴門市まちづくり特別参与の内藤廣

	氏にお願いをいたしております。内藤座長に、挨拶を頂戴できればと思います。
内藤座長	<p>内藤と申します。よろしくお願いいたします。デザイン会議と名前がついていますが、私の経験で言うと、デザイン会議は全部に関わっていくというのがデザイン会議で、ここで議論されることがとても大事、そんな気がしています。私は、新庁舎の設計に関わってきましたが、改めて、綺麗な建物ができただけ、ここで会議ができるととても楽しみにしております。</p> <p>マスタープランを策定する会議で座長をさせていただきましたので、まちの事情、大体的見当はついていますが、これから何をしたいのか。</p> <p>市長も言われてましたが、このまま次の世代に渡していいのか、やっぱり我々の役割は、しっかりしたものを、次の世代に受け渡して欲しいというのが、大きい役割だと思いますし、特にこの変化が激しい時代、まちは今までこうやってきましたが、このままでいいのか、というのは、すごく大きな問題だと思っています。今日はできるだけ、委員の先生方の意見を聞きたいと思っています。</p>
事務局	(事務局が順に各委員を紹介) 各委員から、一言ずつお言葉を頂戴いたします。
永易委員	<p>四国旅客鉄道株式会社 総合企画本部 担当課長 永易と申します。</p> <p>駅周辺の鉄道設備と、地域のまちづくりとの連携を担当しております。公共交通とまちづくりというのは一体的なものだと思っておりますので、会議等を通じてより良い形ができればと考えております。よろしくお願いいたします。</p>
林委員	<p>徳島バス 林と申します。よろしくお願います。</p> <p>私は、目の前を走っている路線バス、高速鳴門バス停を通過している高速バス、その内容をお伝えする部署です。直近では、大塚国際美術館にも高速バスが乗り入れるようになりました。</p> <p>先ほど、公共交通は、まちづくりにとってすごい重要なことだとの話もあったが、こういった会議体というのは他のまちにもあつたりします。僕自身、妻が鳴門市出身で、他のまちよりひいき、ちょっと力を入れております。新しいデザイン会議、一生懸命やっていきますのでよろしくお願いいたします。</p>
森下委員	<p>こんにちは。鳴門で観光事業を行っております、森下麻実子と申します。</p> <p>鳴門公園観光協議会から今回まいりましたが、撫養生まれで、鳴門公園と霊山寺の隣で事業をさせていただいております。</p> <p>私たちは、鳴門が一番栄えた時代に鳴門から恩恵をいただいた世代だと思っていて、そのことは本当にありがたく思っています。これから先どうやっていくのかということを、内藤先生、皆さんと一緒に考えていければと思います。</p> <p>どうぞ皆様、よろしくお願いいたします。</p>
河野委員	<p>大道商店街振興組合会長をさせていただいております、河野と申します。</p> <p>普段の仕事は、撫養町斎田の家具店で、弊社の発祥が、大道商店街でございました。小売業をさせていただきながら、商店街でイベントをしたり、様々な活動をしながら、僕たち現役世代は非常に鳴門に希望を持っていますが、やはり先代、先々代の頃と店の状況、まちの状況を比べると、どちらかというと確実に寂しくなっていってしまっていると思ひながら、仕事も、地域のイベント</p>

	<p>も、自分の個人の生活もすべて繋がっていくんだらうなと思っています。</p> <p>何か1つでも、中心地に限らず、この鳴門市全体を考えたときに、今よりはもっと良くなるものが1つでも、実現していくんだらうなということに希望をもって張り切って参加させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
西谷委員	<p>こんにちは。徳島県宅地建物取引業協会の鳴門支部長をやっております、西谷耕平と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>駅前で不動産屋をしており、鳴門に来たのは、7年前ですが、それまでも縁があって、鳴門に研修という形で来ていて、小さい時も遊びに来ていました。</p> <p>その時のイメージと今のイメージ、30年～40年空いているので、随分ちよつと寂しいまちになったなっていうのは、来たときに感じておりました。</p> <p>今回こういう会議に呼んでいただいて、私も小さい子供がいるので、その子たち、何か残せるものがあればいいと思っています。よろしくお願いいたします。</p>
黒崎委員	<p>徳島県建築士会の鳴門の支部長をしております、黒崎です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>撫養駅前で、工務店を営んでおり、撫養駅を見ても、私が子供のころに比べればすごく寂しくなり、大道銀天街から旧撫養街道の辺りも、店がいっぱいあったんですが、すっかり空き家とか、お年寄りのまちになってしまいました。</p> <p>今回、鳴門駅中心ということですが、少し撫養駅の方にも目を向けていただけたらいいなと思います。それと建築士会には、若手でまちづくりに参画しているメンバーがおりますので、そういったメンバーを巻き込みながらできたらいいなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
安宅委員	<p>こんにちは。商工会議所事務局長の安宅と申します。若いときから商店街さんとか、商店街関係、まちづくりとか、色々やらせてもらっています。</p> <p>にぎわい創出に関しては、大道商店街で昔から納涼市を実施させていただいたり、中心で賑わいを作るようなイベントや空き店舗対策などしてきたんですが、やはり空き店舗も増えてきて、寂しくなるのが、現状であったりします。</p> <p>主婦の店が無くなったり、地域のお菓子屋さんが無くなったり、寂しくなってくる現状がありますので、当然このままでは良くないと、住んでる人にとって鳴門の顔というものがなかなかない。次世代に向けて、何が残せるのかを一緒に考えていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。</p>
池田委員	<p>池田でございます。都市建設部の部長をしております。</p> <p>自分は、団塊世代ジュニアですが、中学生の時は、家の方向が逆ですけど、いつも学校帰りに街なかの方に行って食べたり、くちゃくちゃ喋って、街なかに行ったら友達に会える、そういう街だったと思います。</p> <p>でも、息子、撫養川の東側が校区ですけど、中学校時代、川を渡って街なか遊びにいったことがないらしいんです。子供たちが、一度は街の外に出ても帰りたと思える街になれるよう、手立てを考えていく必要があると思います。</p> <p>デザイン会議からの宿題やご質問をお返すすることで、会議が円滑に動くよう、一生懸命汗かきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>

事務局	会議設置要綱 第6条第2項の規定により、会議については、座長が進行する運営するとされており。これより、内藤座長に会議の進行をお願いします。
内藤座長	副座長は座長が指名することになっているので、前の会議の時もご一緒に、気心も知れている森下さんをお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし（各委員 賛同され、森下委員が副座長に就任）
内藤座長	会議の公開等について、事務局より、原案を説明してください。
事務局	（事務局より、本会議の開催は、市の広報誌、市公式ウェブサイトで、開催日や開催場所について、周知したうえで、事前申込なしで傍聴可能とすること、個人情報やプライバシーに一定の配慮が必要となる時、座長と相談し非公開とすること、議事録は、本会議後、文字におこして、各委員にご確認いただいたうえで、市公式ウェブサイト上に、公開することを説明）
内藤座長	これでよろしいですか。
各委員	異議なし（各委員 賛同される）
内藤座長	それでは議題に入ります。中心市街地の歴史と現状、本会議の役割、先進事例について、事務局より説明してください。
事務局	（事務局より、資料に基づき、現在の鳴門駅前周辺の現況、中心市街地形成の歴史、中心市街地の状況、用途区域、総合計画・都市計画マスタープランなどを説明した後、鳴門市まちづくりデザイン会議の目的・体制を説明）
内藤座長	専門部会は、どうやって作るのか。
事務局	専門部会は、個々の分野・案件に関して、別途検討を講じる必要が生じた場合に設置することを想定している。
内藤座長	作業してみないとわからないこともありますからね。説明を続けてください。
事務局	（人口の推移・減少率、年齢別人口、小学校の生徒数の推移、鳴門駅の現況、鳴門駅交通模式図、公共交通利用状況、路線価の推移、土地の利用状況、中心部の問題点、高校生の意識調査を説明、山口県周南市などの先進事例、本会議のロードマップ案を説明）
内藤座長	ロードマップについて、何回ぐらいこの会議を開催して、この先のビジョンを明らかにしていく想定なのか。
事務局	第1回会議では、説明の趣旨と状況の確認、課題点の共有を行い、第2回では、課題に係るアンケート結果を踏まえた意見交換を行い、その後、行うべき事業抽出を抽出し、プランニング検討検証を繰り返しながら、事業計画を取り出していくような形を想定しています。
内藤座長	何月ぐらいまでに、第2回を開催するとか、そういうビジョンはありますか。
事務局	第2回会議を6月頃、第3回会議を夏から秋に開催したいと考えております。
内藤座長	散らかってまとまんないということもあり得ることなので、夏ぐらいで少し目途を立てておく、皆さんでイメージを共有しておいた方がいいですね。皆さんそれでよろしいですか。（各委員同意） 今日は思いのたけを語ってもらってということでもいいと思います。どうぞ。

河野委員	<p>成功したまちづくりとして紹介された日向市や敦賀市は、鳴門に規模も近く、良いところを取り入れる考えでいいと思います。</p> <p>会社が谷通り付近にあります。谷通り周辺、中心市街地商店街も、サンロードとか中心地の商店街が、土日、非常に人が少ないです。</p> <p>ただ、仕事柄いろんなところを走りますが、「くるくる なる」とは、今でも行列ができていて、鳴門公園も凄く人がおられます。これが周遊できるようになるには、交通もそうなんですけども、道の形、駅といいますか、変わっていった方がいいと思います。</p> <p>一番思うのは、通称谷通りから国道までが線路で分断されている、大道商店街前の踏切が閉まり、渋滞が起きております。この周辺が変わってくると、人が集まってくると思う。鳴門の新しい顔ということでしたら、やはり谷通りの周りをもっと良くなることで流れが変わると思います。</p>
内藤座長	<p>私が関わった日向市と周南市とか、その他にもいくつかまちづくりはやってきたんですけど、鳴門市は、恵まれてるというか、持ち物がたくさんあります。</p> <p>周南市もそうだし、日向市もそうだけど、鳴門市みたいに恵まれてないです。ただ、鳴門市は、持ち物がたくさんあるけどどうも繋がっていないというか、それらがまちと関係なく存在しているところが問題ですね。</p> <p>まちなかに面白さが出てきたら、もっと人が回ってくるような気がします。</p>
安宅委員	<p>私は、平成5年から商工会議所にて、以前、近代化計画という、確か昭和60年ぐらいから平成元年ぐらいに見直しがあったと思うが、この時、鳴門駅を南にずらして、谷通りを28号線に抜く計画だったように思う。</p> <p>先ほど、河野さんからもありましたが、谷通りから28号線に、鳴門駅を南にずらして繋げたら、28号線はかなり通行量が多くなるデータがあったように思う。中心市街地に流れ込む車の量が増えると考えてもいいのではないかな。</p>
内藤座長・事務局	<p>(座長より当時の計画について質問があり、事務局より、当時、市と民間で、まちづくりに係る計画を検討していたが、景気の問題等で、実現には至らなかったことを説明)</p>
内藤座長	<p>中心市街地の空洞化と郊外型ショッピングセンター、それに伴いシャッター街ができる。ほぼ同じことが全国で起きてるって思ってもいいね。これをどうやって抜け出すかだけれども、ただ、商業は難しい。</p> <p>いい街を作ったから、商業が賑やかになるとも限らない。やっぱり面白い場所ができて、それから何かごちゃごちゃしてるところからみんな賑わうということもある訳です。</p> <p>都市計画の側からいうと、何か綺麗なまちを作って整備をする、そうすると中心市街地が活性化するっていう幻想があるけど、必ずしもそうではない。それは結果であって、入口ではない。綺麗な街にするのに必死になりすぎると、商業は何かちょっと見誤るようなところがありますね。</p>
安宅委員	<p>私は結構、ごちゃごちゃとしたような感じがあって、飲み屋の横丁みたいな状態で、この店なんだろうなみたいなところが好きだったりする。</p>

	今の中心部には、人が溜まる場所がない。街なかに、コンビニも撤退してないし、例えばランチを街なかで食べようと思うと、ちょっと思い浮かばない。
内藤座長	人が溜まる店が、ぼつぼつ街なかに出てくる状況っていうのは、どうすれば作れますか。何かちょっといいお店があって、みんながあそこはなんか旨いよとか、美味しいよとかで、わらわら寄ってきて、そういう感じじゃないですか。
西谷委員	それで言うと、食べ物でいうと、やっぱり、鳴門で集まっているのは、魚料理で、この辺りでは嵐さんとか、魚料理の店、びんびん家とか、そういうところはもの凄いです。県外から、人が集まっているところは実際ある。
内藤座長	若い人が溜まる場所と観光客が集まる場所と、街なかにはないですか。
河野委員	流行っているお店はポツポツあるが点在している状態。商店街も組合員がどんどん減ってしまっていて、新たにお店を始めて盛り上げていきたいという人をもっと増やしていかないと商店街自体の活動も、右肩下がりになってしまう。何か流れがよくなると、人が集まってきやすくなるのではないかと思う。 国道と黒崎バイパスは、結構、車が通っていますが、人は、本当に歩いていないし、その間に店がないから人の流れがなくなっている。ハードから変えていくことで、何かのきっかけになったらいいかと思う。
内藤座長	溜まり場はないとして、学校が終わった子はどうしていますか。塾に行ったりするんですか。
事務局	鳴門渦潮高校の生徒は、結構ハローズに溜まっています。高校生も部活動に塾にと時間に追われてて、平日、外に遊びに行くというのは少ない。
内藤座長	少し紹介ですが、周南市で駅をやった時、高校生に随分話しを聞いたんです。何が欲しいと聞いたら、シャワー室が欲しいと。何でって色々聞いてみたら、部活をやってそのまま塾に行くのに、シャワーがあったら嬉しいと。風営法に引っかかるからできないんですけど、彼らのニーズって意外とそんなところにあるんです。僕らの頃と違い、みんな部活に塾に追われているのかな。
森下委員	多分なんですけど、塾に行くからじゃなくて、やっぱりたまり場がないからだと思います。なぜかという、弊社で、必ず高校2年生が来てインターンシップを毎年行って、最初にアンケートを取るんですけど、鳴門市で一番好きな場所はどこですかと質問をすると、一番多い答えは、家なんです。ショックなんですけど、みんな家が好きで、本当に家ってほとんどの子が書きます。 私たちの時だったら、例えば汽車公園とか、ジャスコとか、そういう溜まり場があって、いつもそこでくだらない話をしたり、駄菓子を食ったり、でも今はそういう場所が本当になくから行けないし集まっていない。 空き地や空き家が増えて、駐車場が目立つっていう話なのに、のび太君みたいな、みんなが集まる土管は必要ないし、今の子はそんなところで集まらないだろうし、やっぱり空調が効いた、皆でしゃべる場所だとか、橋の下でちょっといちゃいちゃしたりとか、そういう場所が必要なんじゃないかと思います。 みんなで並んで帰ってる自転車に乗った高校生は見えますけど、その高校生たちが溜まっているところは、見たことないですね。

<p>内藤座長</p>	<p>それは結構大事かも。若い人が見えない街なかってやっぱおかしいよね。 高齡者の方もすごい大事ですけど、若い人がちらちら見えてると、それは何か街が明るくなる気がします。 多摩美術大学の学長をしていますが、女子率が70%で、学生たちが、ワーッと、キャンパスに広がると、空気が変わるよね。やっぱり若い人の力はすごい。 だから、鳴門も色々これからやるんだけど、基本的に何か若い人が何かこうみんな出てくるみたいな感じが出てくると、まちの空気が変わってくるかな。</p>
<p>黒崎委員</p>	<p>松茂町のマツシゲートにイベントスペースがあって、この間、行ったんですが、毎週イベントをしていて、屋内に交流スペースもあって、結構お子さん連れだとか、若い人が来てたんです。 鳴門市の中心市街地を見ても、イベントをするようなスペース、渦潮ふれあい公園はあるけどちょっと離れてるといえるか、あんまり利活用されてないので、やっぱり街の中心、鳴門駅周辺の近いところに、イベントスペース、屋内スペースも含めてですけども、そういったところがあれば、若いお子様連れを含めて、若い人たちが集まってくれるように思います。</p>
<p>内藤座長</p>	<p>イベントをやるってといっても、すごいエネルギーがいるんですよ。だからそれがうまく引き出せるような場所が必要になる。 日向市駅の場合、かなり無理をして広場を作ったんですが、創意工夫をしながら殆どのイベントに関わっている人がいて、年間70回やってるんです。そういうキーパーソンが必要だけど、行政がそれをするのは無理だよね。行政はサポートする側なんで。民間の中からそういう意見が出てくるといい。 場所だけを作っても空いたまんまとなる。両方なんだろうね、行政側と民間が一緒になって取り組んでいく、そんな話もしていきましょう。 まちづくり会社みたいなものを立ち上げればいいのかもかもしれない。行政だと事故があったらとか、心配ばかりで、がんじがらめになってできない。 エリアマネージメントが大事で、それをNPO法人、第三セクターでやるのか、役所が直接関与しないワンクッションにおいて、そこが責任を持つからイベントをやらしてくださいみたいな格好であればできる。 ところで、僕は、地方都市が復活するのは、駅からしか復活できないっていう宣言をしてるんですけど、どうですか。</p>
<p>永易委員</p>	<p>今、四国中で色んな駅周辺のまちづくりのお話いただいています。目立つのは高松とか松山など県庁所在地ですけど、それ以外でも地域地域で、色々なお話をいただいています。 やはり鳴門と同じように、人口減少やスプロール化という課題に対して、中心市街地をどう活性化していくか、やはり同じ課題なのかなと思っています。 鉄道に乗っていただかなくても駅の周辺が賑わうだけでも、我々としてはありがたいなと思いますし、現状は多分、公共交通機関を使ってるのは1割にも満たないぐらいですので、車を利用する9割の方の1%でも2%でも鉄道に乗ってくれれば、鉄道からみれば大きな増加割合です。</p>

	<p>先ほどハード、ソフトという話があったと思いますが、やはり駅周辺で、何か定期的に、受け皿があった上でイベントがあると、公共交通で行こうという方も出てくるかもしれませんし、お酒のイベントだと多分公共交通を使わなきゃいけないと思いますし、そういった意味で、駅周辺、是非、今ある鉄道・公共交通を、まちづくりの中で活用していただきたいなと思います。</p>
内藤座長	<p>鉄道は大事です。鉄道があることで、他と繋がっているイメージを持てる。</p> <p>私、三陸の復興で野田村に行ってみて、止まっていた三陸鉄道が野田村のところ再開した時に、復興を見て回ったんですよ。</p> <p>その時に本当にわかりました。みんなね、手をふるんですよ。それはね、僕はその時、鉄道の別の意味はあるんだと思ったんです。利便性とかね、乗客乗降客数とか色々あるけど、ほかと繋がってるっていうイメージなんです。</p> <p>車ではそれが持てないんですよ。鉄道は他のまちと繋がってるっていうイメージを持てる。僕は鉄道の駅が良くなって、単に乗降客数だけの話じゃなくて、繋がってるイメージが鳴門駅であるべきなんですよ。</p>
林委員	<p>鳴門市さんは、他のまちよりやっぱり恵まれてると思います。</p> <p>まず、観光客が来るまち、徳島県に幾つありますかという話で、徳島市ですらなかなかない。鳴門市の場合は、住んでる方も多いし、大きな企業もありますし、関西に近く、ヴォルティスもある、こんなに恵まれた街はない。</p> <p>先ほど言ってたように、駅前に高校生とか中学生がフリーで使えるWi-Fiとみんなが集まって、おかしが食べれるようなところをつくれば、ある程度、駅前に賑わいが出てくるように思います。</p> <p>今、鳴門公園までは、関西から凄くお客様が来てて、広島とか岡山から、インバウンドも含め、鳴門が徳島の玄関になっています。それを2次交通で、鳴門公園から鳴門駅の間、この数年で便数も増やして対応をしています。</p> <p>あと、バス利用が減ってきた一つの理由に、いくらかかるかわからないとか、どこに行くかわかりにくいといった、バス特有の悩みがあるので、キャッシュレスに対応して簡単に乗り降りできるようなテコ入れも図っていきたい。</p>
内藤座長	<p>運転士さんが足りないことも心配ですね。</p>
林委員	<p>バス事業に係る大きな問題は、乗務員の不足、そして、路線バス部門、徳島県内の全路線が運営面で赤字という状況です。</p> <p>補助金を受けたうえでの決算ですら赤字で、それを県と各市町村と徳島バスで負担して、徳島バスも大体赤字の10%を負担して、この赤字分を高速バスや貸切売上で補填して、何とか鳴門の路線を残すという形をとっています。</p> <p>確かに厳しいんですけど、鳴門の場合、観光客や地域の力もあり、うまくいけば、黒字というか、採算が取れる範囲に落ち着いてくると見えています。</p> <p>ただ、ここも走って、ここも走ってという時代ではなくなってきたので、鳴門駅を中心に、バスがハブになって乗り入れています。</p> <p>そこから先は、自家所有車、デマンド、色んなモードが出てきてますので、那賀町では自動運転とか、実証もしていますが、なかなか自動運転は難しい。</p>

	<p>また、バス事業は労働時間が長くて、乗務員を確保するうえでの課題となっていて、今これをなくしていこうという取り組みをしていて、何とか乗務員を確保できてきた。ここからどうやって利用者を増やしていくか、今やってる他の観光施策とか、全てを絡めてまちづくりをしていけば良いと思う。</p>
池田委員	<p>国道28号に黒崎バイパス、南北の都市軸には、かなりの交通量があります。ただ、東西の街なかの交通量は、皆さん指摘されているように、50年前30年前はもの凄く多かった。それが、周辺に郊外店舗ができて、住宅地も含めて、沿道サービスも街なかから郊外に広がって行って、その勢いが止まりつつある、もう止まってるのかもしれない。そして街なかはスポンジ化している。</p> <p>近年、下水道事業が始まって、中心部が終わって周辺部に移行しているが、整備が終わった中心部がスポンジ化している。今の状況は厳しい。</p> <p>駅は繋がってるって話がありましたが、やっぱり、地方都市でも、駅を核として頑張ってるところは、乗る人だけのものではなくて、そこに何かしらの皆さんが集まってくる都市機能を実装することによって、老若男女、様々な属性の方がそこに集まってくる、そこが変わっていくとその周辺も元気づいていく、そうした観点でまちづくりを進めている。</p> <p>昔みたいに、用途地域が変わればどうにかかなりますとか、大規模な開発をして床を作ったらどうにかなるという時代ではなくなっている。</p>
内藤座長	<p>そうだね。用途地域とか言われても、エネルギーがなければ建たない。</p>
池田委員	<p>これからの人口推移を見た中で、賢く投資していく観点が必要だと思う。色々聞いていくと、コンビニ・Wi-Fiが欲しい。どこにでもあるやんと思う。でも我がまちに振り返るとそうでもない。人口規模がよく似たところでも、機能を絞って、パブリックが、民間や中高生が振り向いてくれるような、何かしらの仕掛けを賢くしている。そうしたものを見つけていきたい。</p>
内藤座長	<p>路線価が下がっていますよね。</p>
西谷委員	<p>斎田、駅前周辺は坪単価でいうと、路線価12、3万ぐらいで、実際はもうちょっと高い価格で取り引きされている。同じ小桑島でも旧市街地は道が狭く低い価格でもなかなか売れない。</p> <p>ただ、駅周辺となると話は別で、ニーズがあってもなかなか物件が出て来ない。所有者が県外であったり、購入時の値段と比較して売却されない例もある。</p>
内藤座長	<p>このパターン、どこの街でも、シャッター街ができる、ほとんど同じですよ。お店を持ってる人も、だいたいちょっと近場の宅地に住んでいたりする。</p>
西谷委員	<p>どうすれば、不動産が流通するのか。相談があれば、聞いてますけれども。</p>
内藤座長	<p>風が吹くんです、要するにいい方向に風が吹いてくると、みんな動いてくれる。悪い方向に行くとさっき言ったみたいに、値段が下がる一方だから、売らないで置いとくみたいな話になってくるので、まちとしてもこっちの真ん中の方を動かしてるっていう空気が流れてくるとまた変わってくるかもしれない。</p>
河野委員	<p>かなり前にまちづくりの話があったっていう話を先輩に聞いたんですけど、当時は、皆さんあまり危機感がなくて、やれるんだろうけれども、あまり、み</p>

	<p>たいな感じではあったようです。何でもあっていいよねって言われるけど、何でもありすぎて、何もしてこなかったんやな、なんて言われ始めてます。これまで、意識がなかった人たちも、すごく敏感になっているような気はします。</p> <p>駅がやはり一番、駅の辺りがにぎわって、それぞれ魅力があるというのが一番だと思います。今、結構、中心地の辺りの人は、ほんまに寂しくなってきたなっていう、危機感は随分、昔に比べて持っているような気がいたします。</p> <p>こういう会がきっかけになれば、やるぞというというきっかけになれば、いいなと思います。</p>
内藤座長	市街地に駐車場が増えてきた感じがしますね。ちょっと寂しさを出している。
西谷委員	駐車場はあるんですが、コインパーキングがない。試算しても採算が取れない。観光客が来てちょっと停めて街なかをぶらぶらするのは難しい。
内藤座長	<p>それは大きいかもしれない。これから考えるいろんなことの中に、駐車場の話しは混ぜといた方がいいですね。</p> <p>ただ、高齢者の方が免許返上とか、団塊の世代が乗らなくなる、乗れなくなる時代があと10年後くらいに来るので、そうすると、あんまり駐車場に傾けてやっくと間違ってしまうかもしれない。ひよっとしたら、あまり車に乗らない、乗用車の時代が今終わりつつあるかもしれない。</p> <p>まちづくりは10年とか20年、30年を考えると、そういうこともあり得るっていうのを、思いながら、やったほうがいいかな。</p>
森下委員	<p>人がいる場所は、実は、鳴門市内ではなく、外にある観光施設、観光地となっていて、魅力溢れるまちは観光地に多いように、市民もその観光地を誇りに思っているし、住んでる地区を誇りに思っているというのが本当の意味で、魅力あふれる観光地、都市だと思うんです。</p> <p>ただ、鳴門市内を起点として、スタートする文化が無くなってしまっていて、お遍路さんも最初は岡崎、撫養港からだったのに、今は徳島駅にほとんどのお客さんがいるし、鳴門公園もJRを使って鳴門駅に来るお客さんが減ってしまい、どちらかというとならば関西から直接バスで来られます。</p> <p>鳴門市内の真ん中に来ないのは凄くもったいないと思ってて、海外のお客さんは、観光地が目的というよりは、まちの人と人の暮らしとか、人の住んでいる場所を、面白いなっていうふうに感じている人が多いです。横丁の飲み屋街とか、人の住んでいる様子が見えることが、すごく魅力的に映ると思います。</p> <p>私はよく汽車を使って、バスを使って、高校に通っていた人間なので、本当に、駅に自分がいる場所があったら最高だと思います。</p> <p>自転車置き場だけでなく、駅で過ごす時間、待ち合わせをしたり、汽車やバスを持つ時間に、友達と話したり、コーヒーを飲んだりできる居場所が欲しいですし、観光客は絶対にそんな場所があったら、そこでお金を使うと思います。</p>
永易委員	鳴門駅は、昔ながらの待合室ですけども、やはり四国各地でも学生向けの待合室を作りたいという要望をいただいています、鳴門駅では空きスペースを観光案内所として使っていますが、同じようなスペースを学生向け

	<p>の待合スペースとして、市に作っていただいた事例がでてきています。</p> <p>空調とWi-Fiは学生さんにとっては、必須とされています。</p> <p>これからアンケートとかいろいろ取っていく中で、学生の他に、先ほどインバウンド、外国人の方の話もできましたけど、どこをターゲットにするのかというのが、大事ななという気がしています。両方をターゲットによるというのがあると思いますが、我々も商品を作っていくときに、ターゲットをどうするかは難しいですが、絞り込みをしていってもいいのかなと思います。</p>
森下委員	<p>鳴門の観光客は、鳴門駅から絶対にバスに乗って観光に行くので、そのバスと汽車の両方ともメインであるというのが、観光客にもやさしい場所は、鳴門というのはすごく、いい側面になるんじゃないかと思います。</p>
内藤座長	<p>自転車通学も多いようだから、駅、自転車置き場、その間に溜まり場みたいなものがあればいいようにも思いますね。若い人に元気出してもらわないと、街の将来はないよね。どうやったら、彼ら励ませるか。</p>
池田委員	<p>新潟のとある駅なんですが、自転車置き場の上を改装して、中高生が溜まれる場を上手に作っている例もあります。そういうのもあるのだなと思います。</p> <p>あと、非常に幅員の広い道、阿波踊りの栈敷に使われる時もあるんですが、それ以外は、あまり人が歩いていない。例えば、日常から人が歩いていただく仕掛けを講じていく。道も題材としてあると思います。</p> <p>また、文化会館近くの親水公園から駅に至るまでの間に何ヶ所か公園がありますが、現状それが繋がってるかと言えば、そういう訳ではありません。</p> <p>ただ、1つトピックなのは、今年度に入って、撫養川の親水公園を民間のマルシェ団体の方が、積極的に使っている例が増えてきています。</p> <p>行政財産を使って、そこで臨時的に店をやってみたいとか、或いは婚活イベントやってみたいとか、そういう話もいただきます。まち全体が元気になっていくときに、民間の方との連携とか、この街を使い倒す人達をどうやって作っていくか。そういう話も、併せてセットで考えていきたい。</p>
内藤座長	<p>少し僕の考えを言うておきますと、基本的に僕は、まちの人がこういうまちにしたいというふうに望んだらそれは実現するもんだというふうに思っています。みんながこんな街にしたい、中心市街地をこういうふうにしたい。そういうのは、実現するもんだと思ってるんです。</p> <p>ただし、それが来年実現するか、10年後なのか、30年後なのかはわからないですけど、まちの人が何かこういうふうにしたいなと思ってるものは必ず実現するもんだと思ってるんです。なので、基本的にはこの会議には言いたいこと言っていると思ってるんです。</p> <p>ただし、それを行政的な裁きの中でやったときに、それはちょっと先になりますとか、そういう話は出てくるけど、やっぱり、言いたいことを言って、こんな街にしたいというふうに、皆さんができるだけ発言をして、それをどうまとめていくかというやり方でいいかなと思っています。</p> <p>基本的な下敷きは、マスタープランと立地適正化計画があって、押さえなき</p>

	<p>やいけないところは、防災の話しとか、色々押さえており、今度はまちの中を どういうふうに活性化していくか。</p> <p>先ほど森下さんが言われた話に繋げて言うと、九州の大分県に湯布院という 町がありますよね。湯布院のまちづくりの中心人物だったのが中谷さん。</p> <p>中谷さんが言った話が、2、30年前に聞いたんですけど、中谷さんは 「おすそ分け」と言ったんです。いい映画見たいと思ったら自分たちで映画祭 をする、それを都会の人が見たいと言ったら見せてあげる、これ、おすそ分け ですよ。それから、うまい酒を飲みたいと思ったら、自分たちでうまい酒を作 って、自分たちがいい暮らしをする。</p> <p>そのいい暮らしを見て、都会の人たちがちょっといいなと思って、「おすそ分 け」っていう。中谷さんが言ったのは、要するに、まず自分たちがいい暮らし をしなきゃだめだっていうことなんです。</p> <p>だから、極端なこと言うと、さっき誰かが触れましたけど、鳴門の中心市街 地の人たちがいい生活をする、うまいもの食って、楽しく、それを見に来るの が観光でしょう。だと僕は思うので、まずは、自分たちがどうやれば、楽しく いい暮らしができるかっていうのが基本的なことで、そのためにはどうしたら いいか、そういうふうになっていかないと。大きい目的はそこじゃないかな。</p> <p>まちづくりは難しいので、要するに、私の権利も関わってくるので、それを どうくぐっていくかですけど、どっかで決断をして進まないといけない。それ から皆さんに、こんな街にしたいんだっていうのを語れないといけない。</p> <p>例えばどっかの方に、ご協力いただけませんかというふうに言うときに、 どんな街にしたいからそうなるというのを、事務局を含めて答えられなければ いけない。こんなまちにしたいんですっていうのを言えるようにしませんか。 だから、まちの人に力を貸してくださいと言えないと、協力してもらえない。 ということですね。資料が何枚か残っていますね。</p>
事務局	<p>(第2回会議に向け、アンケートと交通量調査を行うこと、小中学生等の若い 世代とのワークショップによる意見交換会等を行っていく予定であると説明)</p>
内藤座長	<p>未来の世代、10年も経てば、彼らが主役になるんだから。まちづくりは 10年、20年でやっていくので、本当の主役は今の小学生、中学生、高校生 ぐらい。彼らに、色々、聞いたりするのを大事にしたほうがいいね。</p> <p>あと、今後どのような手法を用いてまちづくりを進めるか、事務局の方で調 査して、次回、報告するようにしてください。</p> <p>それでは、次回は、アンケートの話と、制度設計の話、もうちょっと具体的 に駅周辺に絞って、話をしていくということですのでよろしいですか。(各委員同意) それでは、進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>委員の皆様には、終始、活発なご議論を頂戴し、ありがとうございました。 これをもちまして、第1回 鳴門市まちづくりデザイン会議を閉会いたしま す。本日は、ありがとうございました。</p>